

2024年(令和6年)12月20日号【第363号】

BATPOST

よい会社をつくらう よい経営者にならう よい経営環境をつくらう

(一社)広島県中小企業家同友会 福山支部報

12

2024
December



Contents

支部例会	P02
地区会だより	P05
部会だより	P10
委員会だより	P11
支部理事会報告	P12

県スローガン

Human First! ~新時代へ挑戦~

福山支部スローガン

私たちが創ります 私たちの学び舎を
~いまこそ主体的に動こう~



よい会社をつくらう よい経営者にならう よい経営環境をつくらう

(一社)広島県中小企業家同友会 福山支部報

発行責任者 広報委員長 春名 孝一郎

〒720-0066 福山市三之丸町8-16
福山ニューキャッスルホテル B1F
TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284
URL <https://www.hiroshima.doyu.jp>
e-mail fukuyama@hiroshima.doyu.jp

福山支部11月支部例会

「未来をつなぐ!! 創業者の夢に社員を巻き込む経営指針書」 ～指針書を手地域No.1企業に挑戦～

日時:11月13日(水) 報告者:(株)コアブリッジ 代表取締役 坂口公彦 氏
会場:Zoom 参加者数:62名





福山支部11月例会は(株)コアブリッジ 代表取締役 坂口公彦氏によるご報告でした。今回はZOOM開催でしたので、私的にリアルで坂口氏に会えなくて少し寂しい支部例会でしたが、その思いを消し去るトークで会場(ZOOM)を沸かされておりました。

2017年10月に防災推進事業(株)コアブリッジを設立。事業内容は、建築一式工事・シロアリ防除・抗菌サービス・防災用品小売業。更には耐震シェルター設計と様々な防災関連事業を展開されており、我が国が世界で有数の災害大国である事で防災意識が高まる現状を見据えて「人命を守ることが出来る会社を築きたい」という思いが坂口氏の原動力になっていることを感じました。

私は坂口氏とは、ZOOMでの勉強会で一緒に過ごさせていただき「真面目で少し硬い人」というイメージでしたが、リアルでお会いしましたら、ひたすら会話を笑い(微妙)にもっていくおもしろい人で、また非常に気配りが良く一面もおお方で、頼れる「アニキ」的なお方でした。

経営者となられて翌年1月に同友会へ入会。ひろしま経営指針塾へ参加されて経営指針成文化後、早速会社で発表。この実践への素早い取り組みがブレない経営者へとなられていったのだと気づかされました。指針書の思い

を伝え、浸透させていくには、経営者がブレてはいけません。しっかりとした方向性をつくるツールが指針書だと坂口氏は言われておりました。

グループ討論では「社長の思いを社員にどう伝えていきますか？または巻き込んでいきますか？」というテーマで進めていきました。

一言でなかなか伝えることはできない事で、私のグループでは社員さんをよく知って信用してもらい、数人から巻き込んでいく。更に社員さんと共感していけば浸透していくのではないかとまたコミュニケーションをどうとるか？その環境をどうつくっていくかが必要なので、「個人面談で数人から伝えて巻き込む」とまとまりました。

(株)コアブリッジの現在の社員さんのほとんどが、地域からのご紹介とお聞きしました。

期待され求められる企業。経営者と社員共により良い会社を目指していけば、地域から愛され慕われる会社になっていくと確信を致しました。



(有)山幸運輸
渡辺龍馬(J)

人を生かす経営 全国交流会in長崎

■日時：11月14日（月）～15日（火）
■会場：ホテルニュー長崎



2日間に渡って開催される全国交流会。
1日目は広島県の経営フォーラムでも講演を頂いたエイベックス(株)の加藤氏の問題提起に始まり、その後は中協の4委員長(経営労働・共同求人・社員教育・障害者問題)によるパネルディスカッションでした。
1日目の肝の部分は『人を生かす経営』を深めるためには、どのような4委員会の組織的な取り組みが必要か?というテーマでのグループ討論だと思っております。福山支部でも委員会の連携というキーワードが出てきておりますが、当日のグループ討論でもなかなか煮え切らない難しいテーマでした。

今、改めて思い返して考えてみますと、委員会同士の連携というよりは、流れを整備するといえます。か、経営労働で指針書を完成させ、それをベースに求人と社員教育が行われ、障害者雇用にも取り組むといった流れが想定されるわけで、自社の指針書を各委員会に持参し、それを見せあひながら討論することで、より気づきが多いうちに委員会がなるような気がしますし、委員会へのフィードバックも多くなるのではないかと想像

説に至るのですが、いかがでしょうか。

只、1日目を終えて感じましたことは、経営者としての志や生き様が問われているような気がして、どこかソワソワしておりました。

2日目は実践報告が二つありまして、さすが全国大会といったハイレベルな報告でありました。

「会社は社員のもの」と言い切る大分県の大分デバイステクノロジー(株)の安部氏の報告は特に印象的でした。

実践事例の報告が具体的に多岐にわたり、会社の規模は違えど、うちでも取り入れてみようと思つたものとして、①経理の公開、②社長が社員から評価される社長アンケートです。

また、「社長のすることがなくなった時こそ指針書が浸透したと言えよ」とのまとめは合点のいくものであります。

我が社でも先月から指針書を全員で作成し始めており、その成果が出るのが今から楽しみです。



バンズグリル 小川尚範(1)

女性部会50周年記念行事

■日時：11月7日（金） ■講師：石坂産業(株) 石坂知子氏
■会場：リーガロイヤルホテル広島 ■参加者数：367名



広島女性部50周年記念行事は、これまでの歩みを振り返り、同友会女性部の歴史を学ぶ貴重な機会となりました。この行事では、立ち上げから現在に至るまでの女性部の成長を深く理解し、その軌跡に触れることができました。参加者は、女性部がどのように地域社会に貢献し、支え合いながら活動を広げてきたかを実感し、女性たちの力強さと絆を改めて感じることができました。

特に印象的だったのは、記念講演での石坂産業(株) 専務取締役の石坂知子氏による講演です。石坂氏は「見せる経営とインナーブランディングによる組織風土の改革」というテーマで、企業の成長と組織文化の重要性について語ってくださいました。石坂産業(株)は、産業廃棄物処理業者としての従来イメージを変え、社員全員が共通のビジョンを持ち、積極的に地域創生や環境保護活動に取り組んできた事例を紹介されました。その活動は、業界に新たな価値観をもたらし、地域社会にも大きな影響を与えています。石坂氏の話を通じて、女性経営者としての視点や、組織改革のための具体的な方法論に多くの参加者が感銘を受けました。



女性部会長
ホリスティックブレイン学院(株)
藤原留衣(B)



また、懇親会では、心温まるおもてなしと共に、参加者同士が自由に交流できる時間が提供されました。お食事を楽しみながら、余興やお祝いのメッセージもあり、会場全体が温かい雰囲気になっていました。この時間は、女性部の活動がどれだけ多くの人々に影響を与えていくかを再確認する機会となりました。特に、女性たちが一丸となって力を合わせる姿勢に感動し、これからの女性部会のさらなる発展を誓い合う場となりました。

今後、これまでの歩みをしっかりと踏まえつつ、さらに多くの新しい挑戦を通じて、次の50年に向けての飛躍を遂げることが求められます。今後も、女性部のメンバーが共に力を合わせ、より一層活発で魅力的な活動を展開していくことを心から願っています。

A地区金曜ロードショー会

てんびんの詩～君たちは生き延びることができるのか～

■日時:11月15日(金) ■参加者数:29名
■会場:元町ホール



(株)セイキ工販
土生宗主(A)

地区会だより

A地区会

A地区の11月例会では、近江(おおみ)商人の原点を描いた「てんびんの詩」を視聴して、商いの神髄、商売の原理原則を学び、また自社や自身を振り返り客観視することで、新たな発見や初心を思い出すことを目的として、今後の社業に活かして頂きたい思いで企画しました。

視聴後には、10分間時間を頂き、アンケートの記入を27名実施。内容は①感想②明日から何をしますか?(具体的に)の2項目です。

①感想での意見ですが、「心が洗浄された」、「最後に泣きそうになった」、「仕事を始めた時を思い出した」、「当たり前に仕事をしているが、家族や色々な支えがあつてこそ」ということに気づかされた」

②明日からなにをしますか?(具体的に)では、「覚悟したなら今日やることは明日に回さない」、「お客様に役立つことを念頭に仕事に取り組み」、「経営理念を今一度振り返りまた変革する」、「日々感謝の気持ちを大切に商売していきます」など、感想と具体的な明日からの行動予定を頂きました。

弊社は(株)オーザックの岡崎会長より「てんびんの詩」を教えて頂き、新入社員研修などで視聴します。今後は定期的に視聴し、初心を忘れぬよう営業活動を行います。

また第2部の懇親会では、ざつぱらんな話をしあい、これこそが同友会の良いところであり、どんな時でも経営の匂いがする例会や懇親会作りが重要と感じました。

より地域に愛されるお店になるには?

■日時:11月19日(火) ■報告者:鉄板焼き お好み焼き Tom's 新井智大氏
■会場:市民参画センター ■参加者数:43人



(有)DC開発研究所
村上栄二(B)

地区会だより

B地区会

今年度B地区藤井組の担当例会では東手城地域で経営する、鉄板焼き・お好み焼きTom'sの新井氏による例会を行いました。

テーマは「より地域に愛されるお店になるには?」

新井氏は同友会とは何かよくわからないが八條さんとの人間関係で入会しました。

オープン直後にコロナ禍によって強烈的な船出となりました。地域へのチラシ配布・フードデリバリー導入・4000円飲み食い放題など試行錯誤しながら経営をしていくがなかなかうまくいかず心が折れかけていました。

その時に両親が経営をしていた時の働く両親の姿を思い出しました。

自分は今なぜこの地域に開業したのか?何を大事にしているのか?そこから「長く地域に愛されるお店を目指す」と覚悟し地域に密着し活動を続け店も認知されはじめ着実に売上を伸ばし続けております。

さらに売上の向上と地域に愛されるお店とする為に同友会でアドバイスを求めたいというシンプルなスタート。

最初は棒読みで抑揚のないコグミ会発表から会員アドバイスと共に振り返り経営の原点を両親の働く姿を思い出す事が出来ました。

発表当日は抑揚を付け原稿を読まず思いを告げる姿にコグミ会の仲間と共に感動しました。50000円の客単価にするという大味のテーマだからこそ関連な意見が出てきました。

「やる」と決めた事が実行されず「やらない」が許される事が中小企業最大の課題だからこそ、藤井組ではTom'sの変化を注視しながら発表だけの会にならぬように同友会・コグミ会の価値を上げていきます。

成長と発展のための ロードマップの活用

■日時：11月20日（水） ■報告者：(株)サンモルト 小川真平 氏
■会場：市民参画センター ■参加者数：22名



地区会だより

D 地区会

今回の11月例会では、(株)サンモルト 小川氏に体験発表していただきました。「成長と発展のためのロードマップの活用」というタイトルで小川氏が実際にどのように事業承継をし、①同友会をどう活かしてきたのか②体験発表とその重要性③経営者として従業員とどのような問題に直面してきたのかなどをお話していただきました。

その後、グループに分かれて自分なりにをどこまでやっているのか、実践カードを使ってロードマップをやっています。また、ほかの方はどうやってきたのか？同友会の活動ではなにができるのか？などの意見交換をすることができ、経営課題とその対策方法が具体的に考えることができるよい機会になったと感じました。

さとう社会保険労務士事務所 佐藤裕望(D)

Ay-Salon・カラオケスナックOKANE 飯堂友季子氏 体験発表

■日時：11月19日（火） ■報告者：Ay-Salon 飯堂友季子 氏
■会場：ローズコム ■参加者数：34名



地区会だより

E 地区会

E地区11月例会は、ローズコムにてAy-Salon 飯堂友季子氏による体験発表が行われました。幼少期の貧乏時代、アルバイトでの失敗、起業してからの失敗と、包み隠さず本気本音での体験発表となりました。1度目のスナック、2度目のバー、3度目のタピオカドリンクとチースハットグ、そして今は脱毛サロンと原点に戻ってのスナックを行い、スナックについては開店から4か月で一番順調だとおっしゃっていました。今までの経験からの失敗として、「人を信じすぎたこと・お金や人の管理ができてなかったこと」などを挙げられていました。3度目はコロナの時期でもありましたが、お金と人の管理から逃げずに取り組んでいければ、もっとリスクの低いうちに閉店、継続の判断ができていたと今では後悔しているとおっしゃっていました。

現在の事業については、その面も含めて初歩的なことではあります。売上や利益の把握をするためにまずは毎日の数値管理を行うようにしているそうです。目標なども持つことがなく、必要も感じないとは思っていましたが、過去と同じ思いはしたくないと今は目標として年商1200万と現状からでは達成できる数値を設定して、継続を重視する形となりました。行動力は私含め他の参加者も絶賛していたので、そこは今のままでも管理など細かい部分を強化していけば、素晴らしい経営ができるんじゃないかと感じました。飯堂さん、発表ありがとうございました。



(有)岡村商運 岡村龍二(E)

「このまま終わりにたくない」 ～西江氏の挑戦と想い～

■日時：11月20日（水） ■報告者：庭友 西江友晴 氏
■会場：市民参画センター ■参加者数：48名

F 地区会



今回の同友会例会では、福山市で個人庭師として活躍されている西江氏が体験発表を行いました。西江氏はかつて勤務していた造園会社での過酷な労働環境が原因で体調を崩し、地元福山に戻らざるを得ませんでした。その後、個人庭師として活動を始め、「余生のような人生を送る」ことを考えていました。しかし、同友会に参加し、自身のテーマである「このまま終わりにたくない」という強い想いが芽生え、これまでの姿勢を大きく転換。仕事に対してより貪欲に取り組みを決意を固めました。



浦上修一 税理士事務所
浦上尊史 (F)

今回の発表を通じて、西江氏の人の良さや仕事に対する真摯な姿勢が多くの会員に伝わり、同時に、挑戦することの大切さが改めて共有されました。同友会という場が、西江氏にとっても、新たな一歩を踏み出すきっかけとなったのではないのでしょうか。

「このまま終わりにたくない」という言葉には、西江氏自身の決意と、さらなる高みを目指す意志が込められています。その姿勢が、多くの会員に刺激を与え、勇気を与えたに違いありません。今後のご活躍を心より期待しています。

「プレイヤー社長からの脱却」 ～自走する組織(チーム)を目指してどう取り組むか?～

■日時：11月20日（水） ■報告者：森本工業(有) 森本勉 氏
■会場：ローズコム ■参加者数：21名

G 地区会

地区会だより



最後はお決まりのGポーズ!



名(迷?)司会の高田修一氏



緊張! 報告者の森本氏



亀川組 グループ討論



今日もキリッ! 会長挨拶



狩野組 グループ討論



能登組 グループ討論



品よく熱い想いの総括 前田氏



佐藤組 グループ討論



(有)かの石材
狩野寛和 (G)

11月20日、ローズコムにて森本工業(有)代表取締役森本勉氏の体験発表がありました。テーマは「プレイヤー社長からの脱却」自走する組織(チーム)を目指してどう取り組めば良いか?でした。

僕は凄く意外だったのですが、体験発表のスタートは、同友会G地区で関わった方が言われた言葉から始まりました。例えば「森本さん、従業員を家族のように愛しなさい」「結局何がしたいんや」「森本さんに夢はありますか?」そんな言葉が会社経営に対しての軸になっている事からスタートします。

森本工業(有)さんの業務は、製鉄業の業種で、鉄、ステンレス、その他金属関連の溶接や曲げ、切り出し等を基本に行っている工場、本人曰く、昔ながらの鉄工場。個人商店であったお父さんが立ち上げ初代で、個人商店の独特の社風(社長が全てに関わり、こなす流れであった)が、組織が大きくなる中で、及び仕事量が増えだんだん増えていく中で、全てを自分がやっている組織体制に「本当にこのままで良いのだろうか」とずっとジレンマがあったそうです。

以前から取り組んでいた個人商店からの脱却として助成金の活用による機械導入により、今まで外注に出していた分をあえて内製化をすることによって利益率のアップ。外国人実習生の導入による働き手の確保。業種の偏りのない受注体制。などをパワーアップさせた上での仕組み化等への挑戦。新しく従業員を入れるために職場環境の変化(トイレ改修、工場冷房施設導入)など、バイタリティーに溢れる内容でありました。

今後は組織図を明確にし仕事の流れ組織を作っていく。給与面で同業者の中でも高い設定をして、現在従業員平均540万から平均600万を5年以内に達成するのが目標との事です。

個人商店の当社には、眩し過ぎる発表であり、また頑張ることをもたらえる体験発表でした。

孤独だった私が仲間を集めて チームを作るまで

■日時：11月18日（月） ■報告者：(株)ライフナビ・アイ 畑英利子氏
■会場：タカハシセミナールーム ■参加者数：23名



初の体験発表の感想
改めまして、今回は体験発表をさせていただきありがとうございました。これまでの自分の歩みを振り返ることができた、とても良い機会でした。
そして、一番感謝を伝えたい、義理の母である社長や一緒にこれから活動していく仲間、自分の想いを伝えることができてとても良かったです。
みなからとても良かった、感動したと言ってもらえました。
私自身の発表が同友会の皆さんの役に立てられるか正直不安でした。
また、講師として登壇することはあっても自分のことを話す機会がなかったので、まとめるのにとても苦労しました。
しかし、I地区の皆さんが親身になって私の発表に対しアドバイスをくださり、私だけでは気づくことができなかった視点で色んなアドバイスを頂けてとても勉強になりました。感謝いたします。



(株)ライフナビ・アイ
畑英利子(I)

私自身、会社の全体の数字を見ることをしてこなかった。なので、そういう視点がぬけていました。会社の売上を見るようになったことも良かったです。自分が今までやってきたことを振り返り、そして今できたこと、叶えていきたいことなどを自分と向き合える、本当に良い機会をいただきました。ありがとうございました。

Aグループ担当 「A班メンバーの経営指針に向けた中期ビジョンの発表」

■日時：11月20日（水） ■報告者：K地区A班全員
■会場：同友会事務局 ■参加者数：17名



A班の目標「経営指針を作る」に向けた小組会での取り組みの過程である中期（長期）ビジョンの例発表、質疑応答やグループ討論を通して地区メンバーの気付きや発展につなげる会とする。このような内容で、開催いたしました。
発表者は、「(株)TRIANGLEの山廣さん」「(株)ニューヴィークルの助友さん」「KUROFUKUの藤井さん」「KAMILABO ASVIERの中村さん」「(株)木曾造船の木曾さん」「Bar&Cafeあん梅の目崎さん」「池永経営(株)の田中さん」の7名。まさに、経営基礎講座の流れを受けた形の例会で、様々な企業経営者の事業へ対しての思いと一部ではありますが数値的に示された中・長期計画をどのように実現しようとしているか、それぞれ短い発表ではありましたが、それぞれやすくまとめられており、想像以上の内容でした。その後のグループ討論のテーマ「皆さんのビジョンを語る」でも、その流れを受けて参加者がそれぞれ自由に将来を語りあうことが出来ました。また、将来に向けての課題について意見交換も行う事ができ、刺激と学びの多い例会でした。

本から知識を得るといふ術を持っていない私は、この度のような例会は大変役に立ちます。似たような課題であっても、環境やタイミングが異なればそれに対応する方法は千差万別です。多くの方の様々な話を聞かせていただくことで、疑似的な体験で思考が動きまわります。それは本物でなくても経験値として蓄えられますので、とてもありがたいと感じています。
一人で考える時間は貴重ですが、同時に複数の事をシミュレーションするのは困難です。多くの方に自身の課題を聞いていただき、意見を受け取ると短時間で複数のシミュレーションしたかの様な知識の素材が集まります。
そうしてからじっくり考えた方が、広く複雑な戦略が立てられます。まず実行段階での戦術も豊富になります。「経営指針を作る」ことについて後ろ向きだった事を反省し、私もまずは経営指針を完成させたいと、改めて自身の気持ちを心に刻ませていただきました。



(株)福山楽器センター
新庄一貴(K)

グループ討論研修で『闘論を極める!』

■日時: 11月21日(木) ■報告者: (株)ウッドライフ 川上 定保 氏
 ■会場: ローズコム ■参加者数: 20名



なぜ同友会の例会では討論をするか。そもそも討論とは何か。グループ長の役割とは。報告者の川上氏が参加者に問いかけ、当てられた人が回答する形式で、まるで大喜利のような雰囲気での報告が進みました。

様々なキーワードが出ましたが「同友会の活動理念である自主・民主・連帯の精神で討論する」という点は重要なポイントでした。討論中のメモの取り方や、話がテーマから逸れた時の軌道修正法、事前に準備すべきこと(ブレ報告に参加するなど、すぐに使えるテクニックも満載でした。

川上氏の話でグループ長の心得を楽しく学んだ後、あみだくじでグループ長を決め、40分間討論をしました。討論テーマは4つあり、私のグループは「あなたにとって最高の種類は？」がテーマでした。グループ長に当選した岡崎氏は「そもそも種類が好き? 嫌い? それなぜ?」という質問をし、さらに「種類に関するエピソードは?」と深めました。座学で聞いた小技を活かし、参加者の人柄や考え方を引き出し、最後はわかりやすくまとめてくれました。

発表の後はグループ長へのフィードバック。ここが反省ここが良かった、自分だったらこのワードを拾ったなど、普段の討論では伝えないことを話し合いました。事前準備ゼロでの討論がいかに難しいかを体験でき、参加者の学びのためには汗をかくべきだということも再認識しました。

わざわざ例会をグループ討論研修にしたのは、討論の質を高めるためです。同友会の例会では体験報告の後必ずグループ討論を行います。つまり、例会の質を高めるためにも重要なテーマだったと思います。レクチャーを受けただけからと言ってすぐには身に付きませんが、失敗し修正して経験値を積み重ねるとは、同友会の討論だけではなく、会社の会議や個人面談にも役立つと感じました。

ピーチクパーチク経営談義のP地区が、今回の『闘論を極める!』例会を通して今後ますます本質に迫る話ができる地区会になりそう。私はとてもワクワクしています。



ペアコム(株) 梨木彩加(P)

地区会だより

P地区会

経営指針を作成してわかってきた会社作り

～変わってきた会社、そして社員と一緒に歩むDX時代の企業経営～

■日時: 11月20日(水) ■報告者: (株)川瀬工具店 油藤智子 氏
 ■会場: ジーバックホール ■参加者数: 37名



発表者は木材用切削工具販売を行う(株)川瀬工具店 油藤氏。かつては「売上を上げる」とだけを目指していたが、リーマンショック後の長期赤字に直面し、青年部の財務プロジェクトを通じて経営指針を策定。その過程で社員や外部との深い関りが経営を転換する鍵となった。「切るを極める」「LINEのようなオフィスをつくる」という10年ビジョンを掲げた結果、社員のモチベーション向上、意見交換の活性化、新規顧客獲得、大手顧客開拓、5S活動の継続、新規事業の実現など、多くの成果を上げた。

また、「すべては社長の責任」という気づきを得て、DX化にも積極的に取り組み、チャットワークやGoogle Workspaceを導入することで社内コミュニケーションを活発化。社員を動かす経営を実現し、企業の発展を続けている。

(株)POST 山中友貴(S)

地区会だより

S地区会

がむしゃら吉本物語 ~これが我が社の未来予想図~ 青年部だより

■日時:11月5日(火)
■会場:ローズコム

■報告者:(株)YFコーポレーション 吉本友規 氏
■参加者数:50名



報告者の吉本氏の初対面の印象は「感情の起伏が少なそう」「人に関心がなさそう」等であった。しかし、報告作りに参加していく中で、「情に厚い」「関わった人を幸せにする」の様に第一印象とは全く違う人なのだと思えることができた。その中で、何度もミーティングを重ね、タイトルも幾度なく変わってきた。班メンバーで吉本氏の気持ちに寄り添い、自分が本心に他者へ伝えたいことは何かを一緒に考え導き出した報告であった。

吉本氏は同友会入会と会社創業が同じ時期であったが、それを両立できたとは言えないと言っていた。しかし、同友会で得たことを糧に会社経営で活かし、自分と会社が共に成長してきた過程をより身近に聞くことができた事は、同友会に入会して間もない私にとっては大きな学びになった。吉本氏が母子家庭で育った事を背景に社員のプライベートの充実や子供に関する福利厚生の取り組みをしていくことで素敵な会社にしていくのだと考えを話されており、吉本氏なりの素敵な会社の実現に向けて行動されていると聞き感銘を受けた。「みなさんの思う素敵な会社ってどんな会社ですか?」というテーマでグループ討論を行い、様々な経営者の意見を聞く中で人それぞれ背景があり「素敵な会社」の考え方が違うのだと感じた。また、討論で深掘りすることで自分の考える「素敵な会社」について少し変わった気がする。



(株)ひまわり 高橋悠大

自社に活かす働く人の心理学 ~リーダーシップとワークモチベーション~

女性部だより



■日時:11月22日(金)
■会場:ローズコム

■講師:M Support(株) 前田明子 氏
■参加者数:15名



11月福山支部女性部例会は、「自社に活かす働く人の心理学」リーダーシップとワークモチベーションをテーマにした前田明子氏の講師例会でした。リーダーシップとモチベーションについての深い学びを得る機会となり、大変有意義な時間を過ごすことができました。

特に印象に残ったのは、リーダーシップの多様性についての話題です。リーダーに求められる「安定性」「意欲性」「論理性」などの6つの特徴が挙げられ、これらを自身がどの程度備えているかを見直す契機となりました。また、「サブリーダーシップ」という考え方や、すなわち部下に奉仕しつつも最終的に導くという姿勢に共感を覚え、これを日々のマネジメントにどう活かせるかを考えるきっかけとなりました。

また、ワークモチベーションについての解説も非常に参考になりました。特に、内発的モチベーションの重要性と、外発的モチベーションがそれを損なう「アンダーマイニング効果」についての説明は、自社の組織運営を振り返る上で大きな気づきを与えてくれました。社員一人ひとりが充実感を得ながら働ける環境を整備するためには、賃金や職場環境、業務内容が整っていることが基本であるとの指摘には深く納得しました。

今回の例会を通じて、自身のリーダーシップスタイルを見直し、組織全体の活性化を図るための具体的な方法を考えるきっかけをいただきました。自分の持ち味を生かしたリーダーシップを発揮し、社員がやりがいを持ちながら働ける環境づくりに尽力したいと思えます。

例会を通じて得た学びを今後の経営に活かし、より良い組織づくりを目指してまいります。

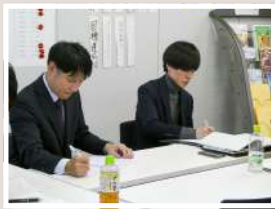


(株)ゆゆう 山本文子(1)

経営労働 委員会

経営基礎講座 経営理念part2 経営理念発表会

■日時：11月22日(金) ■参加者数：43名
■会場：福山事務局、サテライト会場、Zoom



弊社はEC事業を開始して今年で20年目になります。2020年までの16年間、売り上げは右肩上がりでした。それ以降の4年間、業界の市場規模が縮小していることもあり業績は急降下。現在もがき続けています。そうした背景で、同講座へ参加しております。

正直申し上げると、経営指針を明文化する必要性を強く感じておりませんでした。

入会当初は、偉そうにも「明文化していかなくても普段から社員に私がどうしたいかをしっかりと伝えているので大丈夫です。」と、言っていました。

ところが、コロナを境に全く市場が変わり、それまでの成功体験が通用しない環境となりました。現在、社員へ相当の負荷をかけるがらビジネスモデルを再構築している最中です。平均年齢30歳代前半と若い社員が多いのですが、みんな人として優れていて、私の示す方向へ一生懸命進んでいこうと努力してくれました。そんな社員の努力が報われる企業にならないといけないと思っております。

今は過去の傲慢な考えを反省して、社員が将来の夢を実現するために必要とする企業になるために全員で作りに上げる指針が必要だと感じています。

この度は、講座の司会を務めさせていただく機会をいただき、初めて事務局で講座を受講させていただきました。会場は10名ほどの参加者で受講者は5名。テキスト

に沿って宿題を発表し、お互いの感想と委員会の支援者からの意見伺いました。自分の思いを口に出し同じテーマで他者の思いを聞くことができる。また、客観的な意見を伺うこともでき、とても学びの多い良い体験でした。

身近な人の為。社員や社員の家族の為。当社を選んでいただくお客様の為。同じものを背負う仲間の方。当社を頼りにしていただく地域の方の為。そして、業界の方。色んな視点で、自分や我が社に何ができるか突き詰めて、将来どうありたいか明確にして、社内全員で同じベクトルへ向く。

そういったことを実現するために、1つ1つ書き留めまとめたいものが経営指針かな。と思っております。

途中からでも是非参加してください。教材も充実しておりますし、委員の方もアシストしてくださいませので、途中からでも進行に追いつくことができます。そして、是非リアルで参加してください。

短時間で自身の考えを再確認できます。内容が一気にまとまり自分の思いを字に書いてみたり口に出してみる。そういうことが出来る講座です。



(株)福山楽器センター
新庄一貴(K)

求人社員教育 委員会

若手社員研修「マナーはあなたの財産です」

■日時：11月26日(火) ■講師：M Support(株) 前田明子 氏(G地区)
■会場：市民参画センター ■参加者数：34名



この研修で伝えたかったことは、一瞬でああなたの印象を判断されることありますよ、です。もしその一瞬をしっかりと対応できたなら、印象が良く思われてあなたを通して会社も良いイメージを持ってもらえる様になる。マナーは我々経営者でもとっさに対応が出来ないときもありますし、だからこそ求人社員教育委員会では社員と共に学ぶ「共育」を大切にします。



福山ステンレス鋳工(株)
森川弘基(B)

正しいマナーが頭で考えるより無意識に出来るようになるためには、まずはマナーの基礎をしっかりと学んで理解する事だと思えます。そうする事で社会生活の場面でトライ&エラーを繰り返して確実にあなたの身につけていけます。このマナーはどのポジションでも大切であり、営業や経理、現場のオペレーターやドライバーにも必要と思っております。マナーがしっかりとした人と接した時の気持ちよさを思い出してみてください。その人を通して会社の印象も自然に良い方に思ってもらえます。そこに信用が生まれて「この会社に頼んでみよう」と思ってもらえるかも知れません。基礎がしっかりとしたマナーの上に社員の個性が光り会社の信頼に繋がると思えます。

これからも社員教育委員会では社員教育(研修)に取り組んでいきます。

第7回 福山支部理事会 報告

2024年11月27日（出席者 31/32）

【報告・討議事項】

●「やる気に満ちたやさしいチーム」 問題提起：杉田組織委員長
・私が8年前に1地区会長を受けた時は「やらされ感」でいっぱいでした。当時は理事会に遅刻もしたりしていましたが、人との出会いによって自分が変わってきました。その後も環境経営や企画委員長をさせていただき、支部例会の報告から会社の組織づくりを学びました。
・今回、組織委員長を受けたのは同友会が好きというのがありますが、組織経営の疑似体験をしてみたい、という思いもあったからです。今では自分の糧にもなるよう、組織委員長を務めさせてもらっています。
・仲間づくりの意義は、人を知り、組織を知り、よい経営環境につながることでと思っています。本日は動画を準備しました。この動画の内容は同友会にも通じるものだと思います。

※動画視聴 <https://www.youtube.com/watch?v=MPWWF1Ykr18>

・本日は、まず仲間づくりの意義をお話いただき、これからの仲間づくりを具体的にどう進めていくか、新春講演会にどうオブザーバーをお誘いするのかを考えていただきたいと思います。

※「福山支部の仲間づくり～年度末の目標達成に向けて～」をテーマにグループ討論を行いました。内容は省略します。

●まとめ [藤井大副支部長]

・討論発表の中で、数字よりも関係性、同友会の良さを発信、縁を作る、ベテラン会員を頼る、適正な役をお願いする、よい例会づくりなどの意見が出ました。

・会社と同じで人がいないと衰退してしまいます。同友会では利害関係がないので、進めづらい一面もあるかもしれません。だからこそ関係性が大切だと思います。

・本日の動画では、心理的安全性、自然体の対話、ディスカッションと言ったキーワードが出ました。

・支部理事の皆さんは、会員増強の意義は理解いただいていると思います。本気本音の会話ができるよう、まずは理事会の関係性を築いていければと考えています。

■報告・連絡

●専門・委員会

①企画委員会

・1/8（水）は新春講演会と新年互礼会です。講師の丸山先生には情勢を踏まえ、同友会らしいお話をさせていただきます。11月支部例会は地区によっては1名の参加ということもありました。新春は地区から大勢参加いただくよう、お願いします。

②経営労働委員会

・11月と12月は企業変革支援PGver2の登録月間です。広島県の登録がまだ目標に達していません。まずは理事の皆さんが登録いただき、地区で周知をお願いします。説明の要望や不明な点があれば委員長までお知らせください。

③求人社員教育委員会

・来春の合同入社式と新入社員研修の開催に向け、12月に実行委員会を行います。

・11/9（土）に広島市でジョブサミットを開催しました。これは県内の大学生がjobwayの参加企業を取材し、当日プレゼンする企画です。

※大下理事から参加報告がありました。自社には全く木型を知らなかった大学生が取材して、ポスターを完成させてくれました。皆さんも機会があれば、ご参加ください。

④政策委員会

・当初12月に福山学を予定していましたが、福山市と調整の結果、1月は賃上げの勉強会、2月から福山学開催することになりました。2月はバラ会議とMICE（大規模なビジネスイベント）の取り組み、3月は補助金をテーマに勉強会を開催します。

●地区会・部会

①E地区会

・1/21（火）に例会を行います。ハローワークの元職員の奥下氏に採用や社員教育をテーマに講演いただきます。採用や定着に悩んでいる方は、ぜひご参加ください。

■県関係の報告

①県理事会の報告

・長期滞納者は法人化後の規約改定に伴い、会員資格の喪失という手続きになりました。

・討議事項のテーマは会員増強でした。現広島同友会の組織委員長で広島東支部の前組織委員長の平井氏の報告がありました。広島東支部の委

員長の任期終了時に作成された、委員会の思いを込めた文書の紹介がありました。お話を聞いて、仕組みと意思の両方が大切だと学びました。

■その他の報告

①ビジョン委員会の報告

・5年先を見据えた福山支部のビジョン検討を進めています。12月は具体的な数字の内容を考えていきます。関係組織には別途、ご相談します。ビジョン委員以外の方で、5年後の福山支部の姿のご意見があればお寄せください。

②支部活動費の執行状況

・11月末で執行の目安58.3%に対し、実際の執行率は59.2%です。毎月コンスタントに金額が発生するもの、支出があまりないものがあります。

・地区会の補助金は年間で支払いが終わったため、100%に近い執行率になっています。

・財政部では青年部と女性部の会計処理を検討しています。

③支部理事増強の進捗状況

・福山支部理事32名中、12名しか達成していません。3月末の期限までに100%の達成をしたいと考えています。ご協力をお願いします。

④人を生かす経営全国交流会in長崎の参加報告

（高橋環境経営委員長）

・長崎には前泊で参加しました。宿泊先から11月支部例会に参加した後に、長崎の街に出ました。そこで初めて会った方や偶然、(有)メタルワーク福山の大植さんと全国の障害者問題委員会のメンバーに会いました。今後、全国行事が続きます。中には環境経営全国交流会が広島で開催されるほか、愛媛、香川と近隣で行われます。ぜひご参加ください。

（小川I地区会長）

・1日目は問題提起、2日目は実践報告がありました。1日目は全国の4委員長の報告を受け、それぞれの委員会連携についてグループ討論を行いました。2日目の大分同友会の副代表理事からは「経営指針が浸透した状態とは、経営者が何もすることがない状態」とおっしゃっていました。

・当日、会場で販売していた故赤石義博さんの冊子を購入して読み進めています。とてもいい内容で、おすすめです。2日間を通して経営者としての生きざまが問われているのだと思いました。

⑤中小企業問題全国研究集会（全研）in愛媛のご案内

・全国行事はハードルが高いと思われるかもしれませんが、とても濃い内容で学びを得られます。今年度の全研の開催地は交通の便もいい愛媛です。分科会も複数ありますが、ホテルの数に限りがあるため、お早めにお申し込みください。全研が近隣で開催される貴重な機会です。ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

【承認事項】

①入退会の承認

■入会希望者（2名）

ビジョンプロジェクター 代表 田中美紀（D）

事業概要 経営指針やビジョンをヒアリングして、経営者に寄り添う唯一無二の絵画をつくります。

特定非営利活動法人なの花会 理事 金田英幸（D）

事業概要 障害福祉サービス事業。主に生活介護、就労支援B型事業

■退会希望者（3名）

戒技工（株）代表取締役 柘磨秀俊（B）

小川治重税理士事務所 所長 小川治重（E）

有閑倶楽部 藤田利恵（E）

■県理事会退会承認（1名）

以上、承認されました。

これにより福山支部の会員数は658名となりました。

【閉会あいさつ】 [谷野副支部長]

・本日は会員増強の意義とグループ討議を行いました。皆さんは会員増強の意義は納得できたでしょうか。ぜひ新春講演会には理事が1人のオブザーバーと一緒に参加しましょう。

・来月の支部理事会は忘年会のため、18時30分の開会です。1年の締めくくり、来年のスタートを迎える機会にしたいと思います。

・この理事のメンバーになったのも必然だと思えます。理事になったからには決められたことは実行し、次のバトンをつなげるためにも、一丸となって豊田支部長を盛り上げていきましょう。本日はお疲れ様でした。